



環境省

## 指標のランク分類と指標一覧（案）

令和7年1月27日

環境省自然環境局自然環境計画課  
生物多様性戦略推進室



# 評価指標設定の基本的な考え方

- 各状態目標を要素分解し、各要素を評価する指標としての「指標の適切性」について、後述のフローに沿ってランク付けする。

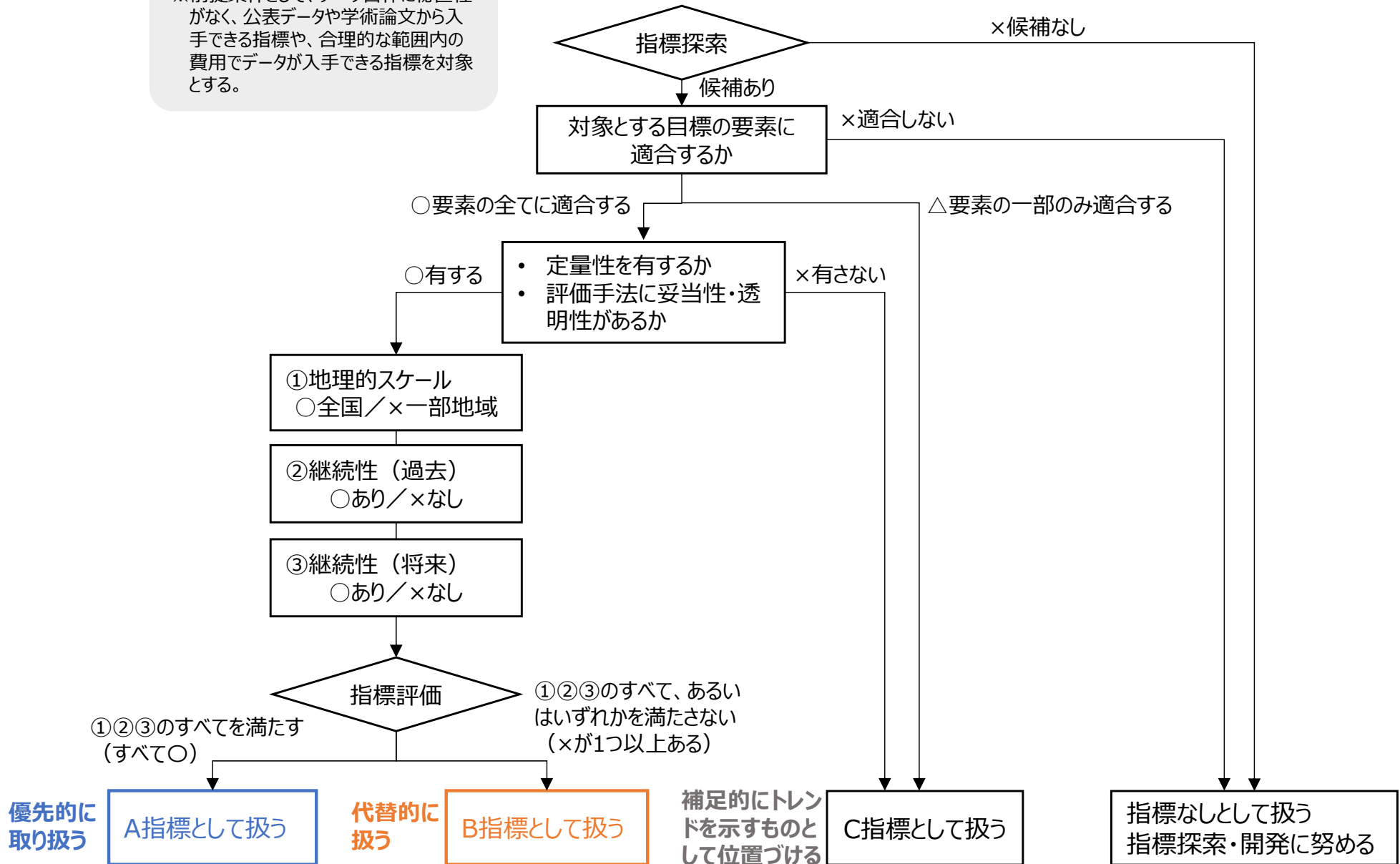
## 「指標の適切性」の各判断基準

- ◆【目標の要素への適合性】
  - ・ 対象とする目標の要素の内容に沿うか。
  - ・ その要素を全体的にカバーするか、部分的にのみカバーするものか。
- ◆【定量性、手法の妥当性等】
  - ・ 定量的か。
  - ・ 算出手法は妥当か。
- ◆【地理的スケール】
  - ・ 全国を網羅しているか、一部地域のみを対象としているか。
- ◆【継続性（過去）】
  - ・ 2時点以上のデータがあり、過去、調査方法の大幅変更等がなく、時間軸に沿った比較が可能か。
- ◆【継続性（将来）】
  - ・ 今後も継続的かつ速やかに入手できる見込みがあるか。

※前提条件として、データ自体に秘匿性がなく、公表データや学术论文から入手できる指標や、合理的な範囲内の費用でデータが入手できる指標を対象とする。

# 指標の設定とランク分類のフロー（案）

※前提条件として、データ自体に秘匿性がなく、公表データや学术论文から入手できる指標や、合理的な範囲内の費用でデータが入手できる指標を対象とする。



---

## 指標一覧（案）

※前回検討会での議論結果及びその後の委員照会結果を踏まえて修正更新したものである。

---

<凡例>

赤字:中間提言時点での評価に活用するもの

黒字:中間提言には活用しないが、JBO4本体での評価には活用するもの

(主に中間提言までにデータが入手できないもの、現時点で短期評価(2020年以降)ができないものなど)

黄色網掛け:R6第1回検討会以降に追加した指標、変更した区分

水色網掛け:R6第1回検討会以降にランクを変更した指標

(R6第1回検討会以降に削除した指標については、本資料では表示していない)

指標名冒頭の記号はそれぞれ下記を示す。

- ・GB:昆明・モンリオール生物多様性枠組に基づくヘッドライン指標
- ・NB:国家戦略において現在設定されている指標
- ・JB:過去のJBOで使用している指標
- ・記号なし:新たに追加した指標

※GBは今後COP16において詳細が決定される予定であり、他指標と重複する可能性がある

# 基本戦略1 生態系の健全性の回復

状態目標1 全体として生態系の規模が増加し、質が向上することで健全性が回復している

※前回検討会での議論結果及びその後の委員照会結果を踏まえ、生態系区分を含めた基本戦略1状態目標1の指標区分は以下のとおりとした。

	大区分		小区分
生態系区分	森林	1	全体
		2	自然草原
		3	自然林
		4	二次林
		5	人工林
	農地	6	全体
		7	水田
		8	畑・果樹地・牧草地
		9	二次草原・草地
		10	里地里山
	都市	11	創出緑地
	陸水域	12	全体
		13	河川
		14	湖沼
		15	高層・中間湿原
		16	低層湿原・湿地
	沿岸・海洋域	17	全体
		18	サンゴ礁
		19	藻場
		20	干潟
		21	砂浜
個別生態系以外	生態系全体		—
	生態系ネットワーク		森林
			湿地
			草地
			河川

細区分
面積
生物種数・多様性
種の個体数・分布域
生息環境

質を考慮した  
指標も含む

# 基本戦略1 生態系の健全性の回復

## 状態目標1 全体として生態系の規模が増加し、質が向上することで健全性が回復している

国家戦略の目標要素	指標区分			A指標	B指標	C指標
	大区分	小区分	細区分			
全体として生態系の規模が増加し質が向上することで健全性が回復している	生態系全体	—	面積	各生態系のコア指標に基づく統合指標(新規)	GB(A.2) Extent of natural ecosystems 自然生態系の広がり 保護地域による絶滅危惧種の集中地域のカバー状況(新規) 保護地域による元・普通種の集中地域のカバー状況(新規) 保護地域による重要地域のカバー状況(新規)	
				NB 陸域における保護地域及びOECEMの面積割合		
				NB OECEM面積(陸域)		
				NB 保護地域面積(陸域)		
			NB 陸域(KBAs)に対する保護地域OECEM該当面積割合	自然共生サイトによる絶滅危惧種の集中地域のカバー状況(新規)		
			NB 自然共生サイト認定後に更新されたサイト数			
			JB(B1-1) 土地利用面積	自然共生サイトによる元・普通種の集中地域のカバー状況(新規)		
				自然共生サイトによる重要地域のカバー状況(新規)		
			生物種数・多様性	GB(A.1) Red List of Ecosystems 生態系レッドリスト		
			種の個体数・分布域	特定外来生物の種の分布(新規) 気候変動指標種の分布変化(新規)	JB(B9-2) 海外から輸入される「生きている動物」等の輸入量 JB(B9-3) 海外から輸入される「生きている動物」の近年の輸入数 海外へ輸出される「生きている動物」の近年の輸出数(新規) 外来鳥類の個体数(新規) 外来鳥類の分布変化(新規)	
生息環境	JB(B32-1)日本の二酸化炭素排出量 JB(B32-2)年平均気温	JB(B32-3)日降水量100mm以上の日数の出現頻度				
生態系ネットワーク	森林	NB, JB(B17-1) 生態系の連続性・生態系ネットワーク指数のうち森林 生態系の連続性・生態系ネットワーク指数のうち都市の森林の連続性(新規)				
	湿地	NB 生態系の連続性・生態系ネットワーク指数のうち湿地				
	草地	NB 生態系の連続性・生態系ネットワーク指数のうち草地				
	河川					

# 基本戦略1 生態系の健全性の回復



## 状態目標1 全体として生態系の規模が増加し、質が向上することで健全性が回復している

国家戦略の目標要素	指標区分			A指標	B指標	C指標	
	大区分	小区分	細区分				
全体として生態系の規模が増加し質が向上することで健全性が回復している	森林	全体	面積	NB 森林生態系面積 JB(B16-1) 森林面積(天然林・人工林) JB(B1-9) 林地からの都市的土地利用への転換面積(目的別用途)			
			生物種数・多様性	下層植生多様性変化(新規)	樹木多様性変化(新規) 森林性の絶滅危惧種と元・普通種の集中地域(新規)		
			種の個体数・分布域	NBニホンジカの推定個体数 JB(B18-1)ヒグマ・ツキノワグマの分布変化	森林地性鳥類個体数(新規) 森林地性鳥類分布(新規) ニホンジカとイノシシの推定生息密度(新規)	積雪深とガビチョウの分布(新規) シカの生息状況とウグイスの個体数変化の関係(新規) NBイノシシの推定個体数	
			生息環境	シカの増加と樹木の新規加入率の関係(新規) JB(B16-5) 松くい虫被害量(被害材積) ナラ枯れ被害量(新規) JB(B19-1)森林蓄積	ニホンジカによる森林生態系への影響度の変化(新規)		
			自然草原	面積	NB 森林生態系面積(自然草原の面積)		
			生物種数・多様性	NB 森林の多様度(自然草原における維管束植物の種数) NB 森林の多様度(自然草原における維管束植物の植被率)			
			種の個体数・分布域				
			生息環境	高山帯における土壌の凍結終日の変化(新規) JB(B12-10) ハイマツの年枝伸長量の推移	大雪山における高山植物の開花時期(新規)		
			自然林	面積	NB 森林生態系面積(自然林の面積)		
		生物種数・多様性	亜寒帯/亜高山帯-冷温帯の境界、及び冷温帯-暖温帯の境界での樹木構成の変化(新規) NB 森林の多様度(モニタリング1000サイトの樹木の種数) NB 森林の多様度(モニタリング1000サイトの鳥類の種数)				
		種の個体数・分布域	NB 森林の多様度(モニタリング1000サイトの鳥類の個体数)				
		生息環境	NB 森林の多様度(モニタリング1000サイトの樹木の地上部現存量)				



# 基本戦略1 生態系の健全性の回復

## 状態目標1 全体として生態系の規模が増加し、質が向上することで健全性が回復している

国家戦略の目標要素	指標区分			A指標	B指標	C指標
	大区分	小区分	細区分			
全体として生態系の規模が増加し質が向上することで健全性が回復している	森林	二次林	面積	NB 森林生態系面積(二次林の面積)		
			生物種数・多様性	NB 森林の多様度(モニタリング1000サイトの樹木の種数) NB 森林の多様度(モニタリング1000サイトの鳥類の種数)		
			種の個体数・分布域	NB 森林の多様度(モニタリング1000サイトの鳥類の個体数)		
			生息環境	NB 森林の多様度(モニタリング1000サイトの樹木の地上部現存量) JB(B6-1) 薪炭の生産量		
		人工林	面積	間伐面積(新規) NB 森林生態系面積(人工林面積) JB(B16-1) 森林面積(天然林・人工林) JB(B16-2) 人工造林面積		
			生物種数・多様性	NB 森林の多様度(モニタリング1000サイトの樹木の種数)		
			種の個体数・分布域			
			生息環境	JB(B19-2) 針葉樹広葉樹別国内素材生産量 JB(B19-1) 森林蓄積(人工林) NB 森林の多様度(モニタリング1000サイトの樹木の地上部現存量)		

# 基本戦略1 生態系の健全性の回復



## 状態目標1 全体として生態系の規模が増加し、質が向上することで健全性が回復している

国家戦略の目標要素	指標区分			A指標	B指標	C指標
	大区分	小区分	細区分			
全体として生態系の規模が増加し質が向上することで健全性が回復している	農地	全体	面積	JB(B6-3) 耕作放棄地面積 NB 農地生態系面積 JB(B1-8) 農地(耕地)から宅地工場用地などへの転用面積(人為かい廃面積) 農業地域類型別耕地面積(新規)		JB(B20-1) 耕地面積
			生物種数・多様性			
			種の個体数・分布域		開放地性鳥類個体数(新規) 開放地性鳥類分布(新規)	
			生息環境			
		水田	面積	放棄水田の面積(新規) NB 農地生態系面積(水田) 農業地域類型別耕地面積(新規)	JB(B20-2) 水田整備面積及び水田整備率	
			生物種数・多様性			NB JB農地生態系を構成する種の生息状況(内陸性のシギ、チドリの種数)
			種の個体数・分布域			NB JB農地生態系を構成する種の生息状況(内陸性のシギ、チドリの個体数)
			生息環境			
		畑・果樹地・牧草地	面積	放棄畑地の面積(新規) NB 農地生態系面積(畑・果樹地・牧草地) 農業地域類型別耕地面積(新規)	放棄果樹地の面積(新規)	
			生物種数・多様性			
			種の個体数・分布域			
			生息環境			
二次草原・草地	面積	JB(B20-5) 森林以外の草生地(野草地)の面積 二次草原の面積(新規)				
	生物種数・多様性					
	種の個体数・分布域			NB 農地生態系を構成する種の生息状況(カヤネズミの生息面積)		
	生息環境					

# 基本戦略1 生態系の健全性の回復

## 状態目標1 全体として生態系の規模が増加し、質が向上することで健全性が回復している

国家戦略の目標要素	指標区分			A指標	B指標	C指標		
	大区分	小区分	細区分					
全体として生態系の規模が増加し質が向上することで健全性が回復している	農地	里地里山	面積		JB(B20-4)さとやま指数	竹林の面積(新規)		
			生物種数・多様性	NB農地生態系を構成する種の生息状況(里地の在来植物の種数) NB農地生態系を構成する種の生息状況(里地の在来哺乳類の種数) NB農地生態系を構成する種の生息状況(里地里山を主な生息地とするチョウ類の種数) NB,JB 農地生態系を構成する種の生息状況(里地の在来鳥類の種数)	里地里山における絶滅危惧種と元・普通種の集中地域(新規)			
			種の個体数・分布域	NB,JB 農地生態系を構成する種の生息状況(里地里山を主な生息地とするチョウ類の個体数) JB(B33-1) 哺乳類在来種の撮影個体数変化 NB,JB 農地生態系を構成する種の生息状況(里地の在来鳥類の個体数) NB 農地生態系を構成する種の生息状況(ハイケボタル・ゲンジボタルの個体数) NB 農地生態系を構成する種の生息状況(ニホンアカガエル・ヤマガエル/エゾアカガエルの個体数)	里地里山における特定外来生物の分布(種別)(新規)			
			生息環境			ヤマアカガエルの初産卵日の変化(新規)		
			都市	創出緑地	面積	都市における緑地面積(新規) JB(B23-3) 都市公園の面積	JB(B23-1) 三大都市圏の土地利用 全国の町丁目別緑被率(新規)	
					生物種数・多様性		都市に分布する絶滅危惧種と元・普通種の種数(新規)	
	種の個体数・分布域				都市性鳥類個体数(新規) 都市性鳥類分布(新規) 都市における特定外来生物の分布(種別)(新規)			
	生息環境							

# 基本戦略1 生態系の健全性の回復

## 状態目標1 全体として生態系の規模が増加し、質が向上することで健全性が回復している

国家戦略の目標要素	指標区分			A指標	B指標	C指標	
	大区分	小区分	細区分				
全体として生態系の規模が増加し質が向上することで健全性が回復している	陸水域	全体	面積		さとがわ指数(新規)		
			生物種数・多様性	NB 陸水生態系(湖沼・湿地)を構成する種の生育生息状況	陸水生態系における絶滅危惧種と元・普通種の集中地域(新規)		
			種の個体数・分布域	淡水魚類の分布(種別)(新規)	陸水生態系における特定外来生物の分布(種別)(新規)		
			生息環境	JB(B10-1) 主要汚染物質の検出状況の経年推移(魚類貝類)			
		河川	面積				一級、二級河川の河川延長(新規)
			生物種数・多様性	NB 陸水生態系(湖沼・湿地)を構成する種の生育生息状況(ガンカモ類の種数)	河川性魚類の種数(新規)	河川性外来魚類の種数(新規)	
			種の個体数・分布域	NB 陸水生態系(湖沼・湿地)を構成する種の生育生息状況(ガンカモ類の個体数)	河川性魚類の個体数(新規)	河川性外来魚類の個体数(新規)	
			生息環境				
		湖沼	面積			全国のため池の分布(新規)	
			生物種数・多様性	NB 陸水生態系(湖沼・湿地)を構成する種の生育生息状況(ガンカモ類の種数) NB 陸水生態系(湖沼・湿地)を構成する種の生育生息状況(水生植物の種数) NB 陸水生態系(湖沼・湿地)を構成する種の生育生息状況(淡水魚類の種数)			
			種の個体数・分布域	NB 陸水生態系(湖沼・湿地)を構成する種の生育生息状況(ガンカモ類の個体数)			
			生息環境	JB(B2-1) 湖沼・海域における全窒素濃度及び全リン濃度及び達成状況	JB(B25-7) 霞ヶ浦、琵琶湖におけるアオコの発生件数	JB(B25-9) 閉鎖性水域(湖沼)における環境基準(COD)の達成度	
		高層・中間湿原	面積	NB 陸水生態系:高層・中間湿原面積			
			生物種数・多様性	NB 陸水生態系(湖沼・湿地)を構成する種の生育生息状況(湿地植物の種数) NB 陸水生態系(湖沼・湿地)を構成する種の生育生息状況(湿地植物の被度)			
			種の個体数・分布域				
			生息環境				

# 基本戦略1 生態系の健全性の回復

## 状態目標1 全体として生態系の規模が増加し、質が向上することで健全性が回復している

国家戦略の目標要素	指標区分			A指標	B指標	C指標
	大区分	小区分	細区分			
全体として生態系の規模が増加し質が向上することで健全性が回復している	陸水域	低層湿原・湿地	面積	NB 陸水生態系:低層湿原・湿地面積		
			生物種数・多様性	NB 陸水生態系(湖沼・湿地)を構成する種の生育生息状況(湿地植物の種数) NB 陸水生態系(湖沼・湿地)を構成する種の生育生息状況(湿地植物の被度)		
			種の個体数・分布域 生息環境			
	沿岸・海洋域	全体	面積	NB OECM面積(海域) NB 保護地域面積(海域) 海域における保護地域及びOECMの面積割合(新規) 海域(EBSAs)に対する保護地域OECM該当面積割合(新規)		JB(B28-2) 浅海域の埋立面積
			生物種数・多様性			
			種の個体数・分布域	JB(B30-1) 我が国周辺水域の漁業資源評価	GB(5.1) 生物学的に持続可能な水準にある魚類資源の割合 海岸防護(新規)	JB(B28-15) 海鳥営巣数の変化 JB(B30-2) 漁獲量と海洋食物連鎖指数(MTI)
			生息環境	JB(B2-1) 海域における全窒素濃度及び全リン濃度及び達成状況 海洋酸性化状況(新規) 日本近海海面水温(新規) 黒潮の経年変化(新規) 海洋域のクロロフィル濃度(新規)	JB(B28-13) 内湾及び閉鎖性海域における赤潮の発生件数 人工護岸率(新規)	JB(B28-14) 閉鎖性海域における環境基準(COD)の達成度
			面積	NB 沿岸・海洋生態系(サンゴ礁)面積		
			生物種数・多様性			
			種の個体数・分布域 生息環境	NB 沿岸・海洋生態系(サンゴ礁)モニタリングサイトにおけるサンゴ被度(新規) サンゴ礁の白化した地点の割合(新規)		

# 基本戦略1 生態系の健全性の回復

## 状態目標1 全体として生態系の規模が増加し、質が向上することで健全性が回復している

国家戦略の目標要素	指標区分			A指標	B指標	C指標
	大区分	小区分	細区分			
全体として生態系の規模が増加し質が向上することで健全性が回復している	沿岸・海洋域	藻場	面積		NB 沿岸・海洋生態系(藻場)面積	
			生物種数・多様性			
			種の個体数・分布域	NB 沿岸・海洋生態系(藻場)モニタリングサイトにおけるアマモ場藻場平均被度及び種組成の変化(種組成)		
			生息環境	NB 沿岸・海洋生態系(藻場)モニタリングサイトにおけるアマモ場藻場平均被度及び種組成の変化(平均被度)		ウニや植食性魚類等による磯焼け被害量(新規)
		干潟	面積		NB 沿岸海洋生態系(干潟)面積	
			生物種数・多様性	NB 沿岸・海洋生態系(干潟)モニタリングサイトにおける干潟の底生生物確認種数生息密度		NB 沿岸・海洋生態系(干潟)を構成するシギ、チドリの個体数・確認種の変化傾向(種数)
			種の個体数・分布域			NB 沿岸・海洋生態系(干潟)を構成するシギ、チドリの個体数・確認種の変化傾向(個体数)
			生息環境			
		砂浜	面積	砂浜のある海岸線延長(新規)		
			生物種数・多様性			
			種の個体数・分布域			
			生息環境			ウミガメの性を決定する砂中温度(新規)

# 基本戦略1 生態系の健全性の回復

## 状態目標2 種レベルでの絶滅リスクが低減している

国家戦略の目標要素	指標区分		A指標	B指標	C指標
	大区分	小区分			
種レベルでの絶滅リスクが低減している	レッドリスト掲載種の絶滅リスク	種	GB(A.3) レッドリストインデックス NB 環境省レッドリストにおいてランクが上がったまたは下がった種の数	沖縄島でのマングース防除によるヤンバルクイナの個体数変化(新規) JB(B3-1) 分類群ごとの絶滅種・野生絶滅種・絶滅危惧種等の割合 JB(B3-6) 生物分類群ごとの絶滅危惧種の減少要因 JB(B3-7) 絶滅種、野生絶滅種の絶滅要因	NB レッドリスト掲載種数 JB(B18-3) 希少動植物の採取庄の現状と過去の傾向 JB(B21-2) トキ・コウノトリの野生個体数
		分布		絶滅危惧種の分布(新規) 減少要因別の絶滅危惧種の分布(生息地の開発関連、水質汚濁等、捕獲採集等、管理放棄・遷移進行等、外来生物による影響)(新規) 元・普通種の分布(新規) JB(B31-1) 南西諸島における固有種とその絶滅危惧種の割合 JB(B31-2) 小笠原諸島における固有種とその絶滅危惧種の割合 JB(B31-3) 南西諸島における絶滅危惧種の減少要因 亜熱帯島嶼における森林の現存量と外来樹木の個体数の変化(新規) JB(B11-3) 奄美大島および沖縄島北部地域のマングース捕獲頭数および捕獲努力量	

# 基本戦略1 生態系の健全性の回復



## 状態目標3 遺伝的多様性が維持されている

国家戦略の目標要素	指標区分		A指標	B指標	C指標
	大区分	小区分			
遺伝的多様性が維持されている	野生生物の遺伝的多様性	遺伝的多様性の減少		GB(A.4) 有効集団サイズが500を超える種内の個体群の割合 植物の有効集団サイズ500を超える割合(新規) 種内で維持されている遺伝的に独立した個体群の割合(新規) サンゴの遺伝的多様性に基づく重要海域(新規)	
		遺伝的攪乱			千葉県内のニホンザルとアカゲザルの交雑率の変化(新規)
	人間が利用する農作物等の遺伝的多様性	—		JB(P7-1) 農作物の遺伝資源保存数	



# 基本戦略2 自然を活用した社会課題の解決 (NbS)



状態目標1 国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している

国家戦略の目標要素	指標区分			A指標	B指標	C指標	
	大区分	小区分	細区分				
国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるよう生態系サービスが現状以上に向上している	生態系サービス	-	-		海洋健全度指数OHI(新規) GB(B.1) 生態系が提供するサービス		
	供給サービス	食料-農産物	供給力	JB(B20-1) 耕地面積			
			供給量	JB(P1-1) 水稻の生産量 JB(P1-3) 小麦・大豆の生産量 JB(P1-5) 野菜・果実の生産量 JB(P1-7) 農作物の多様性 JB(P1-8) コメ品種の多様性 JB(P1-9) 畜産の生産量		JB(P1-2) 水稻の生産額 JB(P1-4) 麦類・豆類の生産額 JB(P1-6) 野菜・果実の生産額 JB(P1-10) 畜産の生産額	
			消費量	米の消費量(新規) 小麦・大豆の消費量(新規) 野菜・果実の消費量(新規) 畜産物の消費量(新規)			
		食料-特用林産物	供給力				
			供給量	JB(P2-1) 松茸・竹の子の生産量 JB(P2-2) 椎茸原木の生産量 山菜(天然)の生産量(新規)			
			消費量	松茸・竹の子の消費量(新規) 椎茸の消費量(新規)			
		食料-水産物	供給力	JB(B30-1) 我が国周辺水域の漁業資源評価	自然資本あたりの漁獲量(新規)		
			供給量	JB(P3-1) 海面漁業の生産量 JB(P3-3) 海面養殖の生産量 JB(P3-5) 漁業種の多様性 JB(P3-6) 内水面漁業の生産量 JB(P3-8) 内水面養殖の生産量		JB(P3-2) 海面漁業の生産額 JB(P3-4) 海面養殖の生産額 JB(P3-7) 内水面漁業の生産額 JB(P3-9) 内水面養殖の生産額	
			消費量	食用魚介類の一人当たりの消費量(新規)			
	資源-淡水		供給力	潜在的な水供給量(新規)			
		供給量	JB(P4-1) 取水量				
		消費量					

# 基本戦略2 自然を活用した社会課題の解決 (NbS)



状態目標1 国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるように生態系サービスが現状以上に向上している

国家戦略の目標要素	指標区分			A指標	B指標	C指標
	大区分	小区分	細区分			
国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるように生態系サービスが現状以上に向上している	供給サービス	資源-木材	供給力	JB(P5-4) 森林蓄積		
			供給量	JB(P5-1) 木材の生産量 JB(P5-3) 生産樹種の多様性 JB(P5-5) 薪の生産量 JB(P5-6) 木質粒状燃料の生産量		JB(P5-2) 木材の生産額
			消費量	木材の国内消費量(新規)		
		資源-原材料	供給力	竹林面積(新規)		
			供給量	JB(P6-1) 竹材の生産量 JB(P6-2) 木炭の生産量 JB(P6-3) 繭の生産量		JB(P6-4) 養蚕の生産額
			消費量	竹材の国内消費量(新規) 木炭の国内消費量(新規) 原料繭の国内消費量(新規)		
		資源-遺伝資源	供給力			
			供給量			
			消費量			
		資源-薬用資源	供給力	薬用作物の栽培面積(新規)		
			供給量	薬用作物の生産量(新規)		
			消費量			

# 基本戦略2 自然を活用した社会課題の解決 (NbS)



状態目標1 国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるように生態系サービスが現状以上に向上している

国家戦略の目標要素	指標区分			A指標	B指標	C指標
	大区分	小区分	細区分			
国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるように生態系サービスが現状以上に向上している	調整サービス	気候の調節	—	JB(R1-1) 森林の炭素吸収量 JB(R1-5) 蒸発散量		
		大気の大気調節	—	JB(R1-6) 都市緑化等による温室効果ガス吸収量 JB(R2-1) NO2 吸収量 JB(R2-3) SO2 吸収量	藻場による炭素固定量(S-15)(新規) 海草・海藻藻場による炭素貯留量(新規) マングローブ林による炭素貯留量(新規) 塩性湿地による炭素貯留量(新規)	
		水の調節	—	JB(R3-1) 地下水涵養量		
		土壌の調節	—	JB(R4-1) 土壌流出防止量 JB(R4-2) 窒素維持量 JB(R4-3) リン酸維持量		
		災害の緩和	—	JB(R5-1) 洪水調整量 JB(R5-2) 表層崩壊からの安全率の上昇度 JB(R5-3) 海岸の防災に資する保安林の面積 NB 沿岸・海洋生態系(サンゴ礁)面積	遊水地の面積(新規)	
		生物学的コントロール(花粉媒介や病害虫抑制)	—	JB(R6-1) 花粉媒介種への依存度 JB(R6-2) 生物農薬の登録状況		

# 基本戦略2 自然を活用した社会課題の解決 (NbS)



状態目標1 国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるように生態系サービスが現状以上に向上している

国家戦略の目標要素	指標区分			A指標	B指標	C指標
	大区分	小区分	細区分			
国民や地域がそれぞれの地域自然資源や文化を活用して活力を発揮できるように生態系サービスが現状以上に向上している	文化的サービス	宗教・祭り	—	JB(C1-3) シキミ・サカキの生産量		JB(C1-4) 年別・樹種別の巨樹・巨木数の変化
		教育	—	JB(E1-3-4-2) 子供の自然体験への参加割合		JB(C2-2) 環境教育NGOの数 JB(C2-3) 図鑑の発行部数
		景観	—	JB(C3-1) 景観の多様性(景観多様度の変化)		
		伝統芸能・伝統工芸	—	JB(C4-3) 生漆の生産量		JB(C4-1) 伝統工芸品の生産額 JB(C4-2) 伝統工芸品従業者数
		食文化	—	JB(C4-4) 酒類製成量 JB(C4-5) 酒蔵・濁酒製成場・地ビール製成場の数 地域特産野菜の生産量(新規) JB(P2-1) 松茸・竹の子の生産量 生物文化多様性指標(新規) JB(P1-7) 農作物の多様性 JB(P1-8) コメ品種の多様性 JB(P3-5) 漁業種の多様性	ジュンサイの生産量(新規)	JB(C4-6) 食文化の地域的多様性
		観光・レクリエーション	—	JB(C5-1) レジャー活動参加者数 JB(C5-2) 国立公園利用者数 市民農園開設状況(新規) 自然を対象とした観光地点数と観光入込客数(新規) 全国の河川空間の利用者数(新規) 全国のダム湖の利用者数(新規)	海岸のレクリエーション価値(新規)	

# 基本戦略2 自然を活用した社会課題の解決（NbS）

状態目標2 気候変動対策による生態系影響が抑えられるとともに、気候変動対策と生物多様性・生態系サービスのシナジー構築・トレードオフ緩和が行われている

国家戦略の目標要素	指標区分			A指標	B指標	C指標
	大区分	小区分	細区分			
気候変動対策による生態系影響が抑えられるとともに、気候変動対策と生物多様性・生態系サービスのシナジー構築が行われている	シナジー	緩和策	—	自然生態系による炭素吸収量(新規)		
			吸収源対策—森林の保全・再生、持続可能な森林管理、森林バイオマス利用	森林吸収源対策による炭素吸収量(新規)		
			吸収源対策—ブルーカーボンの保全・再生	マングローブ林による炭素貯留量(新規)	海草・海藻藻場による炭素貯留量(新規)	
			吸収源対策—湿地の炭素貯留			塩性湿地による炭素貯留量(新規)
			吸収源対策—都市緑化	JB(R1-6)都市緑化等による温室効果ガス吸収量		
	シナジー	適応策	防災・減災等のグリーンインフラ・NbS		遊水池の面積(新規)	森林の持つ多面的機能を総合的かつ高度に発揮させる保安林の面積(全保安林面積)(新規)
気候変動対策による生態系影響が抑えられるとともに、気候変動対策と生物多様性・生態系サービスのトレードオフ緩和が行われている	トレードオフ	緩和策	創エネ(太陽・風力・地熱・中小水力・バイオマス)	生物多様性の重要性和既存の再エネの設置位置(新規)	再生可能エネルギー施設と重要地域・絶滅危惧種分布(新規)	生態系の改変を伴う再エネ導入設置に関するガイドラインや条例の件数(新規)
	トレードオフ	適応策	河川氾濫や沿岸域での高潮等への生態系に配慮されていない対策			

※関係性の強いものを整理しているものの、当該対策内容全てが上記の関係性で整理できるわけではなく（例えば、吸収源対策すべてが生物多様性保全にシナジーを生むわけではないなど）、評価の際には留意が必要。

# 基本戦略2 自然を活用した社会課題の解決 (NbS)



## 状態目標3 野生鳥獣との適切な距離が保たれ、鳥獣被害が緩和している

国家戦略の目標要素	指標区分		A指標	B指標	C指標
	大区分	小区分			
野生鳥獣との適切な距離が保たれ	野生生物による直接的な被害	鳥獣管理	NB ニホンジカ、イノシシの推定個体数		JB(B7-1) 狩猟者数 狩猟者の経年変化(新規) JB(D-1) 野生鳥獣対策予算額、被害防止計画作成市町村数
	健康へのリスク	感染症	JB(D-5) ダニ媒介感染症の患者数等		NB 野生鳥獣に関する感染症により、種の存続を脅かす野生鳥獣の大量死や希少鳥獣への悪影響が確認された数
鳥獣被害が緩和している	野生生物による直接的な被害	農作物、森林被害	NB, JB(D-2) 全国の野生鳥獣による農作物被害額 NB 主要な野生鳥獣による森林被害面積		
		人的被害	NB, JB(D-3) クマ類による人身被害件数 JB(D-4) ハチによる人的被害		

# 基本戦略3 ネイチャーポジティブ経済の実現

状態目標1 生物多様性の保全に資するESG投融資を推進し、生物多様性の保全に資する施策に対して適切に資源が配分されている

国家戦略の目標要素	指標区分		A指標	B指標	C指標
	大区分	小区分			
生物多様性の保全に資するESG投融資を推進している	ESG投融資	投資額			サステナブル投資残高(新規)
		投資機関			NB 生物多様性に関連する投融資原則への国内の署名機関数
生物多様性の保全に資する施策に対して適切に資源が配分されている	資源配分	—			

# 基本戦略3 ネイチャーポジティブ経済の実現

## 状態目標2 事業活動による生物多様性への負の影響の低減、正の影響の拡大、企業や金融機関の生物多様性関連リスクの低減、及び持続可能な生産形態を確保するための行動の推進が着実に進んでいる

国家戦略の目標要素	指標区分	A指標	B指標	C指標
	大区分			
事業活動による生物多様性への負の影響の低減	環境負荷	NB,JB 国内の事業活動を通じた日本全体のエコロジカルフットプリント	NB 国内の事業活動を通じた日本全体のマテリアルフットプリント 事業活動による森林伐採と農地転用の面積(新規) 事業活動による生物種の絶滅リスク指標(EINES)(新規) 事業活動による種の潜在的消失割合(PDF)(新規)	
	技術・サービス	NB 環境産業(自然環境保全)の市場規模		NB 生物多様性に配慮した製品・サービスを提供している企業の割合
事業活動による生物多様性への正の貢献の拡大	保全への関与			JB(E2-2-3) 棚田オーナー制度の協定件数 自然共生サイトのうち、企業が申請者であるサイトの数(新規)
	経営・戦略			NB 経営方針・マネジメント等に関する文書に生物多様性を記載している企業割合
企業や金融機関の生物多様性関連リスクの低減、及び持続可能な生産形態を確保するための行動の推進が着実に進んでいる	目標設定			NB 生物多様性への取組の定量目標を設定している企業割合
	情報開示		GB(15.1) リスク、依存、および生物多様性への影響の開示について報告している企業の数	NB 生物多様性に関する情報開示を行っている企業割合



# 基本戦略3 ネイチャーポジティブ経済の実現

## 状態目標3 持続可能な農林水産業が拡大している

国家戦略の目標要素	指標区分		A指標	B指標	C指標
	大区分	小区分			
持続可能な農林水産業が拡大している	持続可能な農林水産業	農業	NB 化学農薬使用量(リスク換算)と化学肥料使用量 JB(B25-8) 地下水環境基準(硝酸、亜硝酸)の達成状況 有機ほ場の面積(新規) 国内の有機栽培農産物格付量の推移(新規)		JB(B10-2) 殺虫剤・殺菌剤・除草剤の国内出荷量の推移 高温耐性品種米の作付面積(新規) JB(B20-3) 農薬・化学肥料の生産量
		林業	JB(E3-5-1) 木材自給率の推移 我が国におけるFSC及びSGECの認証面積の推移(新規)	GB(10.2) 持続可能な森林管理への進展 NB 森林施業の適切な実施に関する計画のある森林経営計画等の面積の割合	
		水産業	NB 漁獲量のうちTAC魚種の占める割合 MSC認証漁業者数(新規) ASC認証経営体数、認証量(新規) MEL認証経営体数(新規) JB(B30-1) 我が国周辺水域の漁業資源評価	GB(5.1) 生物学的に持続可能な水準にある魚類資源の割合	NB 漁獲量 水産業者が取得したJブルークレジット®の認証量(新規)

# 基本戦略4 生活・消費活動における生物多様性の 価値の認識と行動



## 状態目標1 教育や普及啓発を通じて、生物多様性や人と自然のつながりを重要視する価値観が形成されている

国家戦略の目標要素	指標区分	A指標	B指標	C指標
	大区分			
教育や普及啓発を通じて、生物多様性や人と自然のつながりを重要視する価値観が形成されている	関心・意識	NB, JB(E1-1-1-2) 自然に対する関心度 JB(E1-2-1-1) 自然に期待する働きの選択割合		JB(E1-1-1-4) 地球環境問題に関する関心度 インターネット検索での生物多様性への関心度(新規)
	認知・認識	NB, JB(E1-1-1) 生物多様性の言葉の認知度 JB(E1-1-1-6) 生物多様性国家戦略の認知度	NB 生産と消費が生物多様性に影響を与えることへの理解度 NB 生物多様性保全に貢献する認証制度の認知度	

## 状態目標2 消費行動において、生物多様性への配慮が行われている

国家戦略の目標要素	指標区分	A指標	B指標	C指標
	大区分			
消費行動において、生物多様性への配慮が行われている	選択的消費	NB 週1回以上有機食品を利用する消費者の割合 NB 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民の割合		NB 環境に配慮されたマークのある食品・商品を選ぶことを意識している消費者の割合 JB(E1-3-1) 新設住宅戸数と木造率の推移 JB(E1-3-1) 新設住宅の建て方別木造化率の推移 環境に配慮した生産手法の農産物の購入に対する意識(新規) 木材製品購入の際の環境や社会的な観点の意向(新規) 環境に配慮した代替製品の購入条件(新規) 環境に配慮した商品・サービスを選択する消費者の割合(新規) 食品ロスの発生量の推移(新規) 農産物直売所、水産物直売所の売上額(新規)
	負荷削減	NB 国内の消費活動を通じた1人あたりエコロジカルフットプリント JB(I-1) エコロジカルフットプリント 一人当たりのバイオキャパシティとエコロジカルフットプリントの収支(新規)	NB 国内の消費活動を通じた1人あたりマテリアルフットプリント	

# 基本戦略4 生活・消費活動における生物多様性の 価値の認識と行動



## 状態目標3 自然環境を保全・再生する活動に対する国民の積極的な参加が行われている

国家戦略の目標要素	指標区分	A指標	B指標	C指標
	大区分			
自然環境を保全・再生する活動に対する国民の積極的な参加が行われている	活動	NB 生物多様性の保全につながる活動を既に実施している人の割合 JB(E1-1-1-5) 環境保全活動への意識(自然や環境を守るための活動の行動者率) モニタリングサイト1000の市民調査員参加者数(新規) モニ1000里地調査での外来種防除・駆除活動のサイト数割合(新規) 都市住民、NPO、学校、企業と連携して地域資源の保全活動を実施した農業集落割合(新規) いきものログの登録データ数と登録者数(新規)	NB,JB(E1-1-1-3) 生物多様性の保全につながる活動への意向を示す人の割合	
	寄付	緑の募金の募金額(新規)		

# 基本戦略5 生物多様性に係る取組を支える基盤整備と国際連携の取組



**状態目標1** 生物多様性の情報基盤が整備され、調査・研究成果や提供データ・ツールが様々なセクターで利活用されるとともに、生物多様性を考慮した空間計画下に置き、多様な空間スケールで様々な主体の連携が促進されている

国家戦略の目標要素	指標区分	A指標	B指標	C指標
	大区分			
生物多様性の情報基盤が整備され、調査・研究成果や提供データ・ツールが様々なセクターで利活用されるとともに	情報基盤の整備と活用	NB モニタリングサイト1000ダウンロード数・アクセス数 NB 河川水辺の国勢調査DBダウンロード数・アクセス数 NB 自然環境保全基礎調査ダウンロード数・アクセス数 地球規模生物多様性情報機構(GBIF)データベースへの日本からの登録数(新規)	NB 生物多様性地域戦略データベースダウンロード数・アクセス数 海洋生物多様性情報システム(OBIS)データベースへの日本からの登録数(新規)	
生物多様性を考慮した空間計画下に置き	計画策定	NB 生物多様性地域戦略策定地方公共団体の割合 NB 生物多様性国家戦略2023-2030の策定を踏まえ、生物多様性地域戦略を改定した地方公共団体の割合	GB(1.1) 生物多様性保全のための空間計画に含まれる陸域および海域の割合	
多様な空間スケールで様々な主体の連携が促進されている	活動		自然再生協議会の設置数及び自然再生事業実施計画の策定数(新規)	JB(E4-1-1) 環境保全を図るNPO法人数の推移 JB(E4-2-3) 地方公共団体の環境関連部局職員数の推移

# 基本戦略5 生物多様性に係る取組を支える基盤整備と国際連携の取組



## 状態目標2 世界的な生物多様性保全に係る資金ギャップの改善に向け、生物多様性保全のための資金が確保されている

国家戦略の目標要素	指標区分	A指標	B指標	C指標
	大区分			
世界的な生物多様性保全に係る資金ギャップの改善に向け、生物多様性保全のための資金が確保されている	公的資金	GB(D.1) 生物多様性および生態系の保全と持続可能な利用に関する政府開発援助(ODA)を含む国際的な公的資金供与 GB(D.2) 生物多様性および生態系の保全と持続可能な利用に関する国内の公的資金 生物多様性および生態系の保全と持続可能な利用に関する国外の公的資金(新規) 生物多様性および生態系の保全と持続可能な利用に関する国内の公的資金(新規)		
	民間資金	GB(D.3) 生物多様性および生態系の保全と持続可能な利用に関する民間資金(国内および国際的なもの)		

## 状態目標3 我が国による途上国支援による能力構築等が進み、その結果が各国の施策に反映され、生物多様性の保全が進められている

国家戦略の目標要素	指標区分	A指標	B指標	C指標
	大区分			
我が国による途上国支援による能力構築等が進み	能力構築	NB 自然環境保全を担う途上国機関の体制強化、人材育成人数 自然環境保全分野の途上国支援プロジェクト数(新規)		
その結果が各国の施策に反映され、生物多様性の保全が進められている	計画策定	NB 生物多様性日本基金(JBF2)による支援を受けた国の生物多様性国家戦略改定数		